



# ほ、元み

## 《病院理念》

私達は院是「誠」の医療を推進いたします

1. 私達は他人の為に尽くして感謝しよう
1. 私達は自分の力で伸びて行こう
1. 私達は私達の規則を尊重しよう



## 《基本方針》

1. 地域に根ざした病院として、安心できる医療提供に努めます
1. インフォームドコンセントを徹底し、患者様の選択を尊重した医療をめざします
1. 患者様のプライバシーを尊重いたします
1. 知識と技術の向上に努め最善の医療をいたします
1. 優しさ思いやりを大切に心のごもった公平な医療をいたします

子どもがかぜをひくのは仕方ないとして、何度も同じ病気になるのはどうして?と思いませんか。一生に一度だけの感染症と何度もかかる感染症があるのです。一生に一度だけの感染の代表的なものは水痘(いわゆる水ぼうそう)です。水痘は一度感染すると、治った後も神経節に潜伏感染するので、二度かかることはありません。しかし、体調が悪くなった時に、ウイルスが再活性化して、帯状疱疹になります。

反対に何度もかかる病気の代表は、インフルエンザです。子ども時代にも何度かかかったのに、大人になっても感染します。これは、インフルエンザウイルスの抗原が他のウイルスより変異を起こしやすい特徴を持っており、過去に獲得した免疫(抗体)では対応できないからだとされています。ですから、毎年ワクチンを接種する必要があります。毎年、ワクチンの型(たいてい3種類)は流行を予測して作られています。



### ◎診察日【小児科】

月～金曜日 午前8時45分～12時  
午後3時30分～4時30分  
月曜日・金曜日 午後2時～5時(一般診察)

## 『子どもとウイルス感染症』

小児科医師 占部 智子

同じ人が何度もかかる感染症のもう一つの代表は、手足口病です。もともと手足口病の原因ウイルスが複数(数種類のコクサッキーウイルスとエンテロウイルス)あるからです。二度手足口病に罹患すれば感染を受けたウイルスには免疫ができますが、異なった血清型のウイルス感染を受けて再び同様の症状を現すことがあり、この場合手足口病を反復して発症するようにみえます。

平成23年夏の手足口病は育児書で読んだものより発疹がひどくて、驚かれた方も多いと思います。発疹が腹部に出現するのも当たり前、なおかつ水疱が大きく、破れて瘡蓋(かさぶた)ができ、しばらく発疹痕が残った人も多く見受けられました。そして、今年には発疹こそひどかったのですが、口内の水疱があっても食事がとれなくて困った子がほとんどいませんでした。今年の夏、流行したコクサッキーウイルスA6の特徴なのでしよう。

また、同じ種類のコクサッキーウイルスでも手足口病を起こしたり、ヘルパンギーナを起こしたりします。そもそも、手足口病やヘルパンギーナは高熱が出てのどに水疱ができるところは同じで、のど以外の口の中にも水疱ができて、手足にも発疹がでれば手足口病と診断されます。病名は原因ウイルスとは関係なく症状で決まりますからこういうことも起こります。中には、ヘルパンギーナと診断された後に、手足に発疹がでて、手足口病に病名が変更ということもあります。

子どもが小さいうちは、熱ばかりだして大変だと思えます。でも、流行しているウイルスに二通り出会って、免疫を獲得していくうちに、やがてかぜをひかない丈夫な体になっていきます。それまで数年の辛抱です。共にがんばりましょう。

# 五十肩とは

理学療法科  
濱本 紀子

肩関節は人類の進化の面からみると、2本足で立ち、両手を自由に使用するために、肩関節に大きな可動範囲を持たせて、筋肉・腱・靭帯などで支えるようにしたと考えられています。

肩には体重の1/8にあたる重い腕がぶら下がり、加えて重い荷物を持ち上げたりするなど、加齢とともに疲労が蓄積される構造となっています。このため、痛みを伴う可動制限を認めた場合、「五十肩」と診断されます。

## ●五十肩（疼痛性肩関節制動症）とは

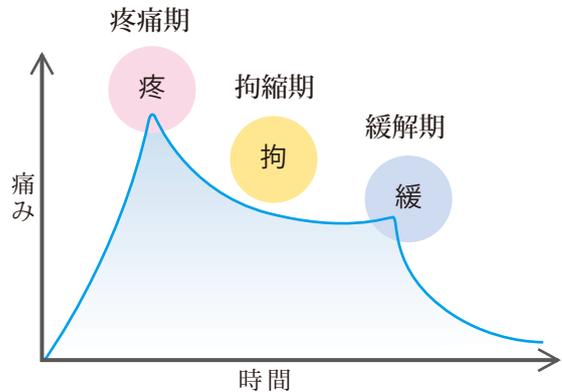
原因については、いまだ不明な点が多いとされていますが、50歳前後に発症し、肩を中心に、ときに腕まで広がる痛みを主症状とします。

## ●病因・病態

- ①肩の炎症や組織癒着
- ②腕の腱の摩耗によって生じる炎症

## ●症状と変化について(右図)

- ◎疼痛期 痛みが主症状で急激に悪化する
- ◎拘縮期 激しい痛みはおさまり、動きが悪くなる
- ◎緩解期 肩の動きも徐々に改善し、運動時の痛みも消失する



## ●検査

- ①単純X線 ②肩関節造影 ③MRI ④超音波

## ●診断

五十肩と診断する決め手はなく、肩関節が固まったり痛みを起こしたりする他の疾患を除外することによって診断されます。

## ●病期別治療

- ◎疼痛期…〈局所の安静〉この時期は炎症を減少させ、痛みを軽減することが最も重要
  - 〈保温〉入浴が効果的
  - 〈睡眠時における姿勢〉肩や肘の後ろに枕やクッションを入れると良い
  - 〈薬物療法〉内服薬・外用薬の使用
  - 〈理学療法〉温熱療法や寒冷療法を行う
  - 可動範囲を広げる訓練はおじぎ運動や肩甲骨運動にとどめる
- ◎拘縮期…この時期は肩の動きの悪さが主体であるため、運動療法が中心となる
  - 〈理学療法〉温熱療法やストレッチを中心に行う
  - 〈パンピング〉局所麻酔やステロイド薬にて痛みを軽減する
  - 〈手術療法〉麻酔下における関節範囲拡大術や関節鏡を使った手術などが行われる
- ◎緩解期…可動範囲も徐々に回復し、それに伴い運動時の痛みも消失する
  - ホームエクササイズを中心にストレッチが中心となる



## ●予後(今後の見通し)

一般的に良くなりますが、自覚症状の消失後も3~7年の長期にわたり可動範囲制限が残り、病期と合わない治療により、炎症の持続や二次的な障害を生じ、病期を長引かせることも少なくありません。このため、医療機関において診断を的確に行い、病期に適した治療法の選択が重要となってきます。「あれっ、肩が痛いな」と思われている方は、まず整形外科を受診し、早期診断・早期治療をお勧めします。

### 第3回 坂本すが塾

## 看護師に自信とやりがいを

日本看護協会 会長講演

# 「強みを伸ばすことが大切」

平成23年9月4日、第3回「坂本すが塾」が十全総合病院5階大会議室で開講されました。

今回は「最近の看護界の動き～ありの目・鳥の目

の視点を大切に～」というテーマで行われました。看護師のやる気を上げ人財育成につなげるため、当院の看護師や十全看護専門学校の学生、また近隣の医療機関関係者を対象にしたところ、188名の方が受講しました。

坂本先生は、看護師が医療現場の様々な変化に対応できる仕組みを作ることが重要と説かれました。専門職の集合体である病院のスタッフひとり一人が最大限の力を発揮できるよう、自信とやりがいを持った職場を作ることができれば、スタッフと患者さまみんなが幸せな病院になれると激励されました。参加者は、坂本先生のざっくばらんな話しを通して、病院の強み、自分の強みを認識し、それを更に伸ばすための方法を考えさせられた良い機会となったと思います。

坂本すが先生は、日本看護協会の会長に就任されたばかりで、大変お忙しい中でのご来院だったにもかかわらず、終始、笑顔で前向きな発言をされる姿に感銘を受けました。来年も第4回「坂本すが塾」開講をスタッフ一同楽しみにしております。



## 学会発表

医療における様々な分野において、当院の職員が実績などを発表しました。他の医療機関において、医療に必要な諸問題の解決に向けて当院が少しでもお役にたてることができれば幸いです。

日程	所属	氏名	発表内容
8月6日	外科医師	大橋 勝久	第65回 愛媛外科集談会総会 「直腸脱に対する Laparoscopic semi-rotation Rectopexy の一手術例」
8月20日	看護師	真鍋麻衣子	第13回 愛媛NST研究会 「胃切除後の胃瘻造設患者～下痢症状改善への取り組み～」
9月1日～ 9月2日	外科医師	大橋 勝久	第16回 中国四国内視鏡外科研究会 「直腸脱に対する戦略～Laparoscopic semi-rotation Rectopexy を導入して～」

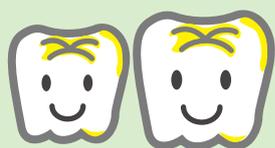
## 第14回 健康講座の報告

# 『リハレクしましょう』～認知症予防と対策～



第14回 健康講座が8月19日(金)午後2時より、別子銅山記念図書館にて開催され、作業療法科主任の曾我部有司が講演しました。受講者は79名でした。

歌に合わせての手足の運動、指運動や言葉の発声、また昔懐かしい紙芝居や紙風船など盛りだくさんの内容で、皆さん童心に返ってとても楽しそうでした。最後に、西条祭りの“伊勢音頭”を講師が歌い、声の掛け合いをして大盛況のうちに終了しました。



## 第79回 健康講座

参加費  
無料

# これからの インプラント治療について

～噛める喜びを実感しよう～

講師 歯科口腔外科医師 松原 正和

日時 10月28日(金)  
午後2:00～3:00

場所 リハビリ棟3階 研修室



参加費は無料、どなたでも参加できます。お気軽にお越しください。

中高生が職場体験に参加してくれました。

それぞれが希望する職種での職場体験を通して、多くのことを学んでくれたと思います。

期間	学校名	人数
8/9～11	新居浜東中学校	3

## 院外医療講演の報告

### 『高齢者と薬について』

8月8日(月)、中萩公民館にて、小笠原充葉局長による院外医療講演を開催いたしました。参加者は中萩地域の今後、要介護高齢者を介護する見込みのあるご家族または近隣の支援者22名でした。

まず始めに、高齢者の現状(栄養状態や体組成、生理機能の変化など)について、次に高齢者に多く見られる認知症、尿失禁、皮膚疾患、睡眠障害、骨粗鬆症の病態とそれぞれの薬物療法における注意点や副作用などを細かく説明しました。

また、処方された薬に対する服薬厳守率は60%と低下しており、その改善対策として、口腔内崩壊錠の利用、粉薬への変更、水薬への変更、外用剤(貼り薬・塗り薬・吸入など)への変更、簡易懸濁法(薬を60度のお湯で溶かして服用)などを上手に利用して、健康維持に繋げ、医療費の削減や介護者の負担が軽減できると話しました。講演後、質疑応答もあり、大変好評で有意義な医療講演となりました。



### 『筋力向上トレーニング』

8月9日(火)、大生院公民館にて、理学療法士 木下幸治による院外講演を開催しました。参加者は今後、要介護高齢者を介護する見込みのあるご家族または近隣の支援者16名でした。

まず、転倒の発生理由(身体的能力「バランス能力、筋力、持久力、柔軟性、骨密度、視覚など」の低下、認知症の発症、注意力の低下、段差などの障害、一度に2つ以上の動作を行うなど)、転倒が多く起こる場所、高齢者の転倒原因について例を挙げながら詳しく説明しました。

また、転倒における骨折はリハビリが必要で、医療費もかかるので、普段から骨折しないよう転倒予防に努めることが重要であるとまとめました。最後に、椅子に座って行う筋力アップの運動を参加者全員で行いました。非常に分かりやすく、充実した医療講演となりました。

## 看護師・助産師

# 募集



明るく、楽しく働きましょう。

院内保育・時差制勤務等あり! お気軽にご相談ください

看護師寮…ワンルームマンションタイプ(UB・冷暖房完備)  
研修等…スキルアップ、認定資格取得、学会出張への支援あり

お問い合わせは TEL.0897-33-1818(代)  
十全総合病院 看護部 八木・総務課 矢野まで

# 第16回 十全公開糖尿病教室

**日時** 11月2日(水) 午前9時～12時

**場所** 十全総合病院 正面玄関ロビー

## 【実施内容】

- 血糖・血圧測定
- 低カロリー食品サンプル展示・配布
- 相談コーナー（食事・運動・薬など）
- 糖尿病クイズ〔10時30分～〕

「こんな時どうする？」

～みんなで参加して、糖尿病を楽しく勉強しよう！～

※詳細につきましては、栄養相談室・外来内科窓口までお問い合わせください。

※糖尿病の方、糖尿病を予防されたい方、そのご家族やご近所の方、どなたでもお気軽にご参加ください。

**参加費、申し込みは不要です。**

# 『糖尿病川柳』募集

新居浜糖尿病地域医療研究会では、『平成23年度新居浜公開糖尿病教室』の一環として、糖尿病に関する川柳を募集します。  
糖尿病に関連したエピソード等を川柳にして多数の応募をお願いします。

## ●スケジュール●

◎応募期間：平成23年9月15日(木)～平成23年10月29日(土)

## ●応募方法について●

応募用紙に作品、ペンネーム、住所・氏名・年齢・性別をご記入の上、投票箱に投函してください。

投票用紙、投票箱は、栄養相談室、会計、23番受付、31番受付、各病棟デイルームに設置しています。

※いただいた個人情報は今回の川柳募集に関してのみ使用し、他には一切使用いたしません。

## ●賞および賞品●

応募作品のうち優秀な作品につきましては、平成23年11月26日(土)開催の『平成23年度新居浜公開糖尿病教室』において、優秀賞として表彰させていただきます。

なお、優秀賞の方には賞品を贈答させていただきます。

※受賞資格は『平成23年度新居浜公開糖尿病教室』に参加された方のみとさせていただきます。

また、すでに発表されている川柳の場合は、表彰の対象外とさせていただきます。

新居浜糖尿病地域医療研究会  
十全総合病院

# 糖尿病教室のお知らせ

秋祭りなど人の多い場所へ出かける機会が増える季節です。  
インフルエンザを予防し、秋を満喫しましょう♪

開催日	内 容
10/5(水)	秋の食べ物、秋祭りを楽しもう 担当/内科医師 管理栄養士
10/12(水)	運動の秋! 体を動かそう 担当/理学療法士
10/19(水)	インフルエンザ対策できていますか? 担当/感染看護管理認定看護師 臨床検査技師
10/26(水)	インフルエンザにかかったら… 担当/感染看護管理認定看護師 薬剤師

秋だー元気な体で満喫しよう

どなたでもお気軽にご参加ください。お申し込みは不要です。

**日時** 毎週水曜日 午後2:00～ **場所** 外来棟3階 カンファレンスルーム

※都合により内容が変更になる場合があります。

## 患者さまの権利

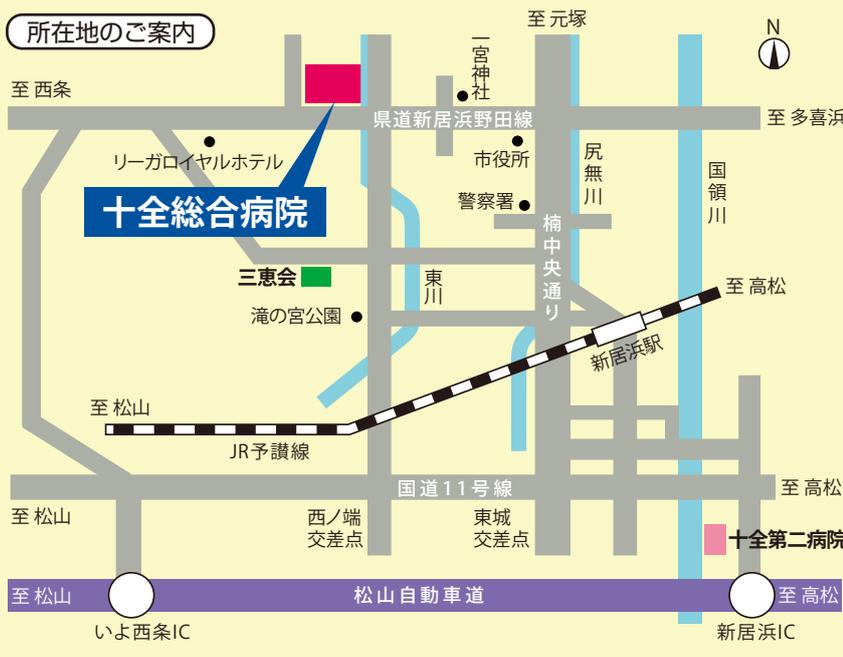
私たちは患者さまとのより良い信頼関係を築くため「患者の権利」を尊重します。

1. 良質で安全な医療を平等にうける権利
1. 病気の診断・治療方針・今後の見込みについて十分な説明をうける権利
1. 他院を含め他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利
1. 自分が受ける医療に参加し自ら決定する権利
1. 診療上の個人のプライバシーについて保護される権利
1. 診療記録の開示を求める権利

## 患者さまの責務

1. 医師が説明し同意した治療方針に協力する義務があります。
1. 自分自身の健康に関する情報はできる限り正確にお伝えください。
1. 院内の規則を守り、他の患者さまの治療に支障を来さないよう協力をお願いします。

## 所在地のご案内



## 交通のご案内

- 《お車》新居浜ICから約20分、いよ西条ICから約20分  
【駐車場完備 272台収容可能】
- 《バス》瀬戸内バス …… 「十全病院前」下車、正面玄関すぐ
- 《JR》JR 予讃線 …… 新居浜(にはいま)駅下車、タクシーで約10分

## 移動図書館 青い鳥号 来院予定日

10/12(水)・26(水)

来院時間 午後3:10～3:50

お問い合わせは…

新居浜市立別子銅山記念図書館  
TEL(0897)32-1911

◎悪天候や特殊な事情により、運行を中止することがあります。

## 病院敷地内 全面禁煙

トイレや人目につかないところでの喫煙は防火管理上も大変危険ですので、喫煙はくれぐれもご遠慮ください。皆様のご理解とご協力を、よろしく願いたします。 病院長

## 財団法人 積善会 十全総合病院

〒792-8586 愛媛県新居浜市北新町1番5号  
TEL(0897)33-1818 FAX(0897)37-2124

ホームページアドレス <http://jyuzen.jp/>

編集 広報誌編集活動委員会



未来が変わる。日本が変わる。  
ストップ! 温暖化

## 十全医療・福祉グループ

- 十全看護専門学校  
あたたかい気持ちとあつい心をもった看護師の育成を図っています。
- 愛媛十全医療学院  
理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の育成校は【博く学び、深く思い、厚く思いやる】
- 愛媛十全医療学院附属病院【内科・整形外科】  
生活能力の回復と維持を図っています。
- 医療法人 十全会 十全第二病院【精神科】  
あたたかい心、思いやりの心、私達は心の医療を推進します。
- 社会福祉法人 三恵会  
子供から高齢者まで、幅広い世代へのお世話をしています。  
総合福祉施設 やすらぎの郷  
介護老人福祉施設 ハートランド三恵  
介護老人保健施設 リハビリステーション三恵荘  
総合福祉館 コミュニティハウス三恵  
身体障害者療護施設 三恵ホーム  
介護老人保健施設 希望の館  
通所介護事業所 えぐも  
児童福祉施設 十全保育園  
福祉館 恵海 (平成23年11月初旬オープン予定)



環境負荷を抑えた植物油インキと適切に管理された森林から生産された紙を使用しています。